

「地域文化で日本を元気にしよう！」 文化審議会文化政策部会報告書要旨

第1章 地域文化を振興する意義

1. 地域文化を振興する本質的意義

- (1) 心の豊かさの創出
- (2) 住民の身近な文化芸術活動の機会の確保
- (3) 地域社会の連帯感の形成
- (4) 地域文化の振興による日本文化の振興
- (5) 世界的な視野での文化多様性の確保

2. 地域社会を活性化させる文化

文化には、人々に元気を与え地域社会全体を活性化させて、魅力ある社会づくりを推進する力がある。このような文化の持つ力（「文化力」）は、文化芸術以外の様々な分野においても貢献しうる。

- (1) 地域経済を活性化させる文化
- (2) 観光資源としての文化
- (3) 教育や福祉などの分野でも大きな効果を持つ文化

第2章 地域における文化の現状

1. 地域文化をめぐる現状

- 地方公共団体の文化関係経費は平成5年度の9,553億円を最高額として地方財政の厳しさを反映して減少してきており、平成13年度は5,651億円。

地域の文化施設の整備は相当程度進んでいるが、その設備や機能が十分に活用されているとは言い難く、地域住民の要望の重点もハードの整備からソフト事業の充実や地域振興政策における文化的側面の重視という方向へ移行。

2. 地域の文化振興に関する取組みの質的な変化

行政主導型の地域文化振興策から、住民、文化芸術団体、企業等と行政との連携・協力型へ移行。

地方公共団体において、「まちづくり」の中核に文化を位置付け、総合政策の一環として文化政策を取り入れてきている。

第3章 地域文化の振興に当たっての課題と方策

第2章に述べた地域文化の現状を踏まえ、本部会においては、地域文化の振興について、7つの課題を整理し、各課題に対する21の方策について、各地で実施されている特色ある取組みを27の事例として紹介。（別表参照）

- 課題 1：地域文化を振興するために地域の「文化力」をいかに結集するか
- 課題 2：文化以外の分野に「文化力」をいかに活用するか
- 課題 3：地域の文化芸術活動を活性化する人材をいかに育成し，登用するか
- 課題 4：文化芸術活動を支える拠点・資源をいかに活性化するか
- 課題 5：子どもたちの文化芸術活動への支援をどのように進めるか
- 課題 6：文化芸術活動に関する情報収集・発信をどのように進めるか
- 課題 7：文化芸術活動への資金的援助をいかに確保するか

第 4 章 地域文化の活性化に向けて

1. 今後関係者に期待される具体的役割と取組み

地域文化は，地域で生まれ，育まれ，継承されていくものであり，地域住民には，その主役としての役割が期待される。

文化芸術団体には，その自発性・創造性を発揮して，特色ある文化芸術活動を展開するとともに，他の文化芸術団体や教育，福祉，観光に関する団体・機関などとも積極的に連携・協力し，地域文化の振興に貢献することが求められる。

芸術系大学等の高等教育機関には，文化施設や文化芸術団体と連携しつつ，地域文化の担い手や文化芸術団体と住民とを結びつける者などの人材育成を図ること及びアートマネジメント等の研修の機会を提供していくことが期待される。

企業には，地域の一員であるとの自覚の下，その立地する地域の文化芸術活動を積極的に支援するとともに，自らの経営資源を生かして，地域文化を振興していく担い手となることが期待される。

地方公共団体等には，長期的な視野からの地域文化振興のための基本的な方針等の策定，地域の「文化力」を結集するための調整，住民や文化芸術団体等が気軽に利用・相談できる仕組みの形成，地域における文化資源や文化芸術活動の積極的な支援などにより，地域文化の振興に努めることが求められる。

国は，地域文化の振興を図るため，各地域における文化芸術活動への支援や情報提供等の必要な施策を講じる。

2. 連携・協力により解決すべき課題と方策

今後の地域文化振興に当たり，地域の特色ある文化資源の発見と再生，教育，福祉，観光などの分野との連携，人材育成，地域の文化拠点の活性化，子どもたちの文化芸術活動への支援，文化芸術活動に関する情報発信などについては，特に関係者の連携・協力を推進することが重要。

(別表)

課題	方策	事例	特色
課題1 地域文化を振興するために地域の「文化力」をいかに結集するか	方策1 地域文化の振興に対する住民の参加意識を高め、地域の「文化力」を結集する	福岡県春日市における「文化振興マスタープラン」の策定	地域文化振興計画を住民が主体となって作成
	方策2 地域の特色ある文化資源を掘り起こす	北海道ひがし大雪アーチ橋梁群（北海道上士幌町）	文化資源としての地域遺産を再認識し、まちづくり
		日立市における行政と地域住民の協働による地域文化の創出	文化資源を地域住民が中心となって創出し、まちづくり
課題2 文化以外の分野に「文化力」をいかに活用するか	方策3 教育分野との連携により、「文化力」を教育分野に活用する	NPO法人「STSスポット横浜」（アート教育事業部）と神奈川県との協働事業	学校と芸術家との連携を指導計画作成段階から進め、教育効果を向上
	方策4 福祉分野との連携により、「文化力」を福祉分野に活用する	奈良市のシルバーコースによる健康と生きがいづくり	文化の持つ福祉の効果によるまちづくり
	方策5 観光分野との連携により、訪れてみたいまちづくりに「文化力」を活用する	重要伝統的建造物群保存地区 千葉県佐原市佐原	地域が一体となって町並み保存をし、観光客を誘致
課題3 地域の文化芸術活動を活性化する人材をいかに育成し、登用するか	方策6 地域において文化芸術活動を実際に担う人材を全国に還流させる仕組みをつくる	NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCNDN）の「踊りに行くぜ!!!」（京都府）	地域では普段鑑賞することの難しい文化芸術を全国で巡回公演
		芸団協セミナーにおけるマネジメント関連講座（東京都）	現職者向けの実践的なアートマネジメント研修
	方策7 地域における文化芸術活動を支える人材の育成・登用を行う	東京藝術大学大学院「応用音楽学」のインターンシップ（就業実習）	アートマネジメントに関するインターンシップ（就業実習）を実施
		兵庫県のヘリテージマネージャー制度	文化財とまちづくりをつなぐ専門家の育成・登用
	方策8 地域住民が文化ボランティアとして参加しやすい仕組みをつくる	滋賀県の能登川町立博物館の「地域学芸員」	住民を地域学芸員として活用し、文化芸術活動に参画してもらう
		（財）可児市文化芸術振興財団の地域通貨「ala」（アーラ）（岐阜県）	地域通貨により文化ボランティア活動が活発化
	方策9 大学等の高等教育機関と連携し、大学等の地域貢献をうながす	取手アートプロジェクト（TAP）（茨城県）	大学等の地域貢献と大学の専門性や人材を活用
方策10 文化に愛着を持った人や団体に公立文	NPO法人ダンスボックス（大阪府）	文化施設の運営をNPO法人に委託	

	化施設の運営に当たってもらう	富良野市によるNPO法人ふらの演劇工房の指定	長年にわたり地域文化の振興に大きな役割を果たしてきたNPO法人を指定管理者に指定
課題4 文化芸術活動を支える拠点・資源をいかに活性化するか	方策11 文化施設（文化会館，美術館・博物館等）のネットワーク化を図る	C-WAVE（シーウェーブ）ネットワーク協議会（九州5県）	地域の文化施設が県境を越えて事業連携
	方策12 地域の特色ある文化財の積極的な活用を図る	よこはま洋館付き住宅を考える会	地域の文化財を教育活動の拠点としても活用
	方策13 学校や社会教育施設などの既存の遊休施設を有効活用する	京都芸術センター（旧明倫小学校）	廃校等を文化施設への転用により地域の文化芸術活動の拠点に
課題5 子どもたちの文化芸術活動への支援をどのように進めるか	方策14 学校との連携により子どもたちの文化芸術体験・表現教育を推進する	大阪府立近つ飛鳥（ちかつあすか）博物館	学校と博物館との連携により，子どもたちの文化芸術活動を推進
	方策15 企業との連携により子どもたちの文化芸術体験・表現教育を推進する	TOA（ティーオーエー）株式会社による中学生体験活動「トライやるウィーク」への協力（兵庫県）	企業メセナ活動と連携した子どもたちの文化芸術体験
	方策16 学校や教員の文化への理解を促進し，教員を支援する仕組みをつくる	子どもの美術教育をサポートする会（滋賀県）	学校と美術館の連携を文化芸術団体がコーディネートし，子どもたちに美術により親しむ機会を提供
	方策17 高齢者から地域の歴史ある文化芸術を子どもたちに伝える仕組みを構築する	兵庫県の小野市立好古館「わたしたちのまち・阿形（あがた）」展	高齢者と子どもたちを結び付ける取り組み
課題6 文化芸術活動に関する情報収集・発信をどのように進めるか	方策18 インターネット等を活用して全国に向けての情報発信を積極的に行う	広島県立美術館友の会ボランティアによる美術館ホームページの作成支援	インターネットを活用した情報発信
課題7 文化芸術活動への資金的援助をいかに確保するか	方策19 国や地方公共団体等による地域文化に対する支援事業の活用を図る	石川県小松市「町人文化のまち再生構想」	「地域再生推進のためのプログラム」を活用した地域文化振興
	方策20 企業のみセナ活動や社会貢献活動により地域文化の振興を図る	NPO法人山梨メセナ協会 株式会社フェリシモ（神戸市）	地元出身者に対する長期間にわたる企業メセナ活動 社員の自己啓発や文化芸術活動を支援
	方策21 個人による寄附のインセンティブ（意欲）を高める	愛知県春日井市の「市民メセナ基金条例」	個人の意志による寄附を，行政が補完して支援

「地域文化で日本を元気にしよう！」(概要)

文化審議会文化政策部会

本報告書の特徴

地域文化の振興に当たっての課題を整理し、その課題に対する特色ある事例を収集

各地域にとって課題解決のヒントとなる情報を提供

各地域の自発的な取組みによる地域文化の振興

地域文化で日本を元気にしよう！

7つの課題と27の事例

例

文化会館では、その設備や機能が十分に活用されていない

現状

課題4

文化芸術活動を支える拠点をいかに活性化するか

方策11

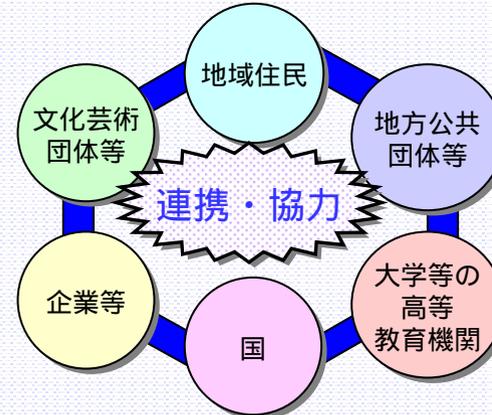
文化施設(文化会館、美術館・博物館等)のネットワーク化を図る

事例

C-WAVE(シーウェーブ)
ネットワーク協議会

地域の文化施設が県境を越えて事業連携を図ることにより、費用負担の軽減や情報の共有化が図られ、存在自体を地域内外に発信することも可能

連携・協力の推進



- (1) 地域の特色ある文化資源の発見と再生
- (2) 教育、福祉、観光などの分野との連携
- (3) 人材育成等
- (4) 地域の文化拠点の活性化
- (5) 子どもたちの文化芸術活動への支援
- (6) 文化芸術活動に関する情報発信